

# 一般会計予算の主な使い道

※千円単位を四捨五入しています。

20万都市戦略推進事業	391万円	土地改良事業	13億1326万円
古川駅バリアフリー化整備事業	6560万円	大貫西部むらづくり事業	2億33万円
地域自治組織支援基金費	5億円	企業誘致促進事業	1億1217万円
地域自治組織支援事業	2657万円	商工業金融対策事業	8億809万円
市営バス事業管理費	4605万円	鳴子峡周辺整備事業	1億4470万円
中国残留邦人支援事業	1187万円	デスティネーションキャンペーン推進事業	2340万円
自立支援医療給付事業	1億5320万円	道路橋りょう維持補修経費	2億9740万円
障害者施設費	6億4888万円	市道改良整備事業	1億1905万円
後期高齢者医療経費	12億8012万円	道路橋りょう新設改良事業	4億7100万円
心身障害者医療費扶助事業	2億1100万円	三本木PAスマートIC整備事業	2億9430万円
乳幼児医療対策事業	1億3489万円	鹿島台駅周辺地区整備事業	1013万円
児童保育運営経費	13億8511万円	李埴飯川線改良事業	4億2684万円
児童手当給付事業	10億5542万円	住宅整備事業	3億5788万円
児童扶養手当給付事業	5億3648万円	小学校改修事業	7億3532万円
生活保護扶助事業	16億5385万円	中学校改修事業	2億1681万円
大崎市民病院建設推進事業	1500万円	図書館等建設用地取得経費	1億6700万円
(仮称)口腔保健センター建設事業	4190万円	(仮称)大崎南学校給食センター施設費	2億1502万円
健康診査事業	2億1630万円	体育施設改修事業	2246万円
病院事業会計支出金	18億円	オニコウベスキー場災害復旧費	2300万円



## ■観光の振興

仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの本番の年となることから、プレ・デスティネーションキャンペーンで醸成された自信と誇りを糧に、「観光を通じた地域づくり」を一層加速させていきます。

また、昨年十月の鳴子峡遊歩道崩落事故に伴う整備については、仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに向け、部分的にでも、散策ができるように取り組むとともに、新ルートの整備も進めていきます。

うに、介護保険をはじめ高齢者の福祉サービスの事業を展開していきます。

また、平成二十一年度から二十三年度までを計画期間とする第四期の「介護保険事業計画」の策定に向けて作業を進めていきます。

主な事業▼介護予防支援事業、高齢者外出支援サービス事業など

## ■健康づくり

市民一人ひとりがより良い生活習慣を通して健康増進を図り、病気を予防する「一次予防」を重点とした「健康増進計画」を本年の秋を目途に策定していきます。

また、民設民営により設置される(仮称)大崎市口腔保健センター」の建設を支援していきます。

主な事業▼救急医療確保対策事業、各種予防接種事業など

## ■高齢者福祉および介護保険

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるように、介護保険をはじめ高齢者の福祉サービスの事業を展開していきます。

## ■障害者福祉

障害者自立支援法が施行されてから三年目を迎え、国では、利用者の負担軽減や事業所支援の拡大策を講じることとしています。

本市独自の支援策については、引き続き実施してまいります。

主な事業▼福祉タクシー利用助成事業など

## ■児童福祉

三本木地域の幼保一元化施設「子育て支援総合施設ひまわり園」ならびに「三本木児童交流センター」を四月にオープンし、子育てしやすい環境づくりを推進します。

本市の子育て環境の整備を図るため、学識経験者や児童福祉関係者などで構成する「大崎市子育て支援策検討会議」を設置し、総合的に検討してまいります。

なお、乳幼児医療費助成の拡大については、検討会議で平成二十年度前半に集中的に協議していただき、財源も含め一定の方向性が整い、十月一日から実施できるよう努めます。

主な事業▼地域子育て支援センター事業など

## ■環境行政

「環境基本計画」の策定を進めるとともに総合計画に掲げる「自然と共生し、環境に配慮したまちづくり」を推進するため、ヒシクイなど、水鳥の重要な湿地である古川地域の「化女沼」のラムサール条約湿地登録の実現に向け、国・県などと連携を図りながら積極的に取り組んでいきます。

主な事業▼環境保全・美化推進事業など



化女沼のラムサール条約湿地登録の実現へ

## ■水道

合併協定に基づき、水道料金金の統一に向けた段階的な調整を行ってまいります。

このことにより、給水収益の減少が見込まれ、厳しい事業運営となりますが「大崎市水道事業基本計画」の進行管理を的確に行い、安全・安心な水道水の供給に努めます。

主な事業▼上水道施設整備事業など

## ■下水道

公共下水道事業、農業集落排水事業、浄化槽整備事業の三事業を導入し、計画的に整備を行うとともに、水洗化普及の促進に努めます。

農業集落排水事業については、十二地区で供用開始となっており、田尻第二地区の平成二十一年度の一部供用開始を目指し、事業を進めていきます。

主な事業▼公共下水道事業など

## ■市営住宅

市民ニーズに対応した住みよい住宅環境を目指し、住宅の改修などを計画的に進めるとともに、安心して生活できる市営住宅の管理を行ってまいります。

主な事業▼古川西荒井住宅建替事業など

## 市長コラム 天・地・人

### 三本の矢



三月三十一日で合併満二歳を迎えました。いよいよ合併三年目を力強く歩み出します。

新年度は、新しいまちづくりの指針「総合計画」と行政改革の指針「集中改革プラン」の実現に向け、二兎を追って二兎を得る大崎市流の改革が本格的にスタートいたします。

「石の上にも三年」「三つ子の魂百まで」の格言にもあるように、事を成就するために三年目は極めて大事な節目であります。大崎市の基盤づくりや未来に向けて大きな一歩を踏み出す大切な年であることから、「挑戦(チャレンジ)元年」と位置付けてまいります。

総合計画の将来像「宝の都(くに)・大崎くずつとおおさきいつかはおおさき」の実現に向けて、重点プロジェクトである大崎二十万都市への挑戦、おおさき産業革命の推進と一万人雇用機会の創出、大崎市流域

## 大崎市長 伊藤 康志

「事を成功させるためには、天の時、地の利、人の和が大事。特に人の和が重要」との言葉を教える。新生大崎市の飛翔を願って題字にしました。